

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



酒井あかり ちゃん
(令和2年1月生まれ・上辺見)
パパとママの宝物。これから
も元気いっぱい過ごそうね
(父：正幸、母：美樹)



野口明真 くん(左)
拓真 くん(右)
(令和3年9月生まれ・三杉町)
笑顔いっぱい☆元気いっぱい
僕たちいつも一緒だよ～☆
(父：真弘、母：真由美)



須永孝太郎 くん
(令和3年4月生まれ・けやき平)
みんなをメロメロにする我が
家のアイドルこっちゃん♡
(父：太、母：真理香)



前野陽太 くん
(令和2年5月生まれ・三杉町)
陽太は私たちの宝物♡生まれ
てきてくれてありがとう！
(父：亮一、母：志穂)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください♪



わたしの夢

楽しさを伝えられるダンサーに

中村凧沙さん 上大野小学校6年生

私の夢はみんなにダンスの楽しさを伝えられるダンサーになることです。ダンスを始めたきっかけは、私の先輩がイベントでダンスを踊っているところを見て「カッコいい。私もやりたいな。」と思ったことでした。そして、ダンスを習い始め、踊る楽しさを知り、今度は私がみんなにダンスの楽しさを伝えたいと思うようになりました。

現在、さまざまなジャンルのレッスンを受け、ダンスバトルにも挑戦しています。目標を達成するために、これからも努力を続けたいです。



キラリ
古河ビト

人生の伴走者として

優良助産師厚生労働大臣表彰を受賞

三宅はつえさん(62歳・本町)

長年にわたり助産事業に献身してきた功績が認められ、大臣表彰を受賞した三宅さん。出張開業助産師として妊産婦のケアや後進の育成、女性の体や出産に関する正しい知識の啓発活動を精力的に行っています。命と向き合い続ける三宅さんに助産師の仕事に対する思いを伺いました。

看護師として医療機関へ就職した三宅さんは、配属先の病棟が産婦人科だったことがきっかけで助産師の道に進みました。助産師と聞くと出産に立ち会う専門職というイメージを持たれがちですが、妊娠期の生活相談から産後の健康指導、母乳や新生児のケアなど、幅広いサポートを行っています。新しい命が無事に生まれたときは、こちらも幸せな気持ちになる仕事だと話します。

平成6年からはインターネットを活用し、仲間と共に妊娠・出産・育児に役立つ情報発信を始め、新潟県中越地震の際には、多くの被災者を勇気づけました。その時作成した被災者と助産師をつなげるための「助産師ゼッケン」は、東日本震災でも活用されたそうです。その後はNHK連続テレビ小説や大河ドラマに助産師役として出演したほか、出産指導や監修などで45作品に携わってきました。影響力がある媒体で誤った情報が放送されないよう、より望ましい出産の仕方を届けることを常に心掛けています。

多くの人との出会いや多岐にわたる仕事の積み重ねが、助産師として誇れる賞に結び付いたと笑顔で話す三宅さん。ご縁のあった人たちへの感謝とともに、これからも女性とその家族に寄り添い続けます。

～Profile～

1960年3月23日生まれ。古河第二小学校→古河第一中学校→古河第二高等学校→越谷市立看護専門学校→東京都立公衆衛生看護専門学校助産学科卒業。妊娠・出産・育児情報「REBORN」の編集にも携わる。もものみ助産院を開設以降、市から新生児訪問指導者や母親学級講師を委嘱されるほか、東京大学医学部非常勤講師等も務める



▲お食い初めに招かれて



▲デリケートゾーンケア講座の様子